

(様式2)

令和7年度学校応援団 特色ある実践事例

学 校 名	実 施 月 日	学校応援団参加延べ人数
柳井市立日積小学校	6 / 19 ~ 1 / 20	35名

1 活動名

「日積のよりよい未来を考えよう」(5・6年総合的な学習の時間)

2 活動内容

少子高齢化や農家の減少等の課題がある中、日積の農業、米作りについて調べることにした。そこで、以下のような活動に取り組んだ。

- ・日積の米農家の方に来ていただき、米作りの現状について教えていただいた。
- ・南周防農地整備事務所の方と現地に行き、圃場整備やビオトープについて説明を聞いた。
- ・9月には手作業での稲刈り、10月にはコンバインでの稲刈りを体験した。
- ・12月の日積ふるさとまつりで、来場者に3種類の米の食べ比べをしてもらった。

3 子どもたちの声

- ・農家の仕事は大変だけど、農家になってみたい。
- ・地域の方と交流することで、関係が深まった。日積米に誇りをもちたい。
- ・後で知ったが、コンバインに乗せていただくなど当たり前ではなく、地域の方の優しさだと実感した。中学生になっても日積の優しさを守りたい。

4 学校応援団の方の声(感想など)

- ・農業の大変さだけでなく、楽しさややりがいを感じた。
- ・お米の食べ比べというアイデアが素晴らしい。これからも日積の農業の素晴らしさを伝えてほしい。
- ・食べ比べて、どのお米も甘くておいしかった。お米作りは大変だが、ぜひがんばって続けてほしい。

